

「もう一度生まれたら、花に」

掲載中止について

細井明美

韓国の権テソンさんが書かれたマンガ「もう一度生まれたら、花に」は、インターネット・サイトに掲載してあります。日本語に翻訳したのはナムムの家の研究員である村山一兵さんです。左記にそのURLを書きます。

HYPERLINK `http://3rd.geocities.yahoo.co.jp/gl/ippippiipai/view/20060630/1151597900、

慰安婦問題を非常にわかりやすく描いていることに感動して私が編集を担当した97号から連載を始めました。しかし、一ページに四ページ分を配してもそのマンガの魅力を機関誌に収めることは到底無理でした。

このマンガの主人公はナムムの家(注)に住んでいるハルモニたちの人生を凝縮したものです。権テソンさんはハルモニたちの取材をした上でこのマンガを書きました。すなわち彼女たちの多くが日本軍に拉致され、慰安婦となり、終戦のときには日本軍に殺されそうになった人々です。しかも私たちが思いおこさなければならぬのはハルモニたちが当

時一五、六歳の少女たちだったということです。生きて戦場から戻らなかつた少女たちもいました。

「もう一度生まれたら、花に」の主人公が慰安婦にされる寸前のところで掲載を中止してしまうのはとても残念なのですが、掲載方法がとても難しかったということです。

この話の経過にご興味のある方はどうぞ先に書いたサイトを訪れてみてください。

今も韓国では、いまや80代になろうとしているハルモニたちが、一九九二年一月八日から始まった日本大使館の前での水曜デモを続けています。このマンガを契機に寒風の中でも大使館の前に立って抗議をしている年老いたハルモニたちに思いをはせていただけたら幸いです。

(注) ナムムの家

太平洋戦争末期、日本軍によって性的犠牲を強いられた元日本軍従軍慰安婦のおばあさん達の生活の場として建設された。現在、慰安婦の歴史を伝える歴史館としても知られる。

(ほそい・あけみ 本会会員)

前号の正誤表

6 ページ上段 前から5行目
誤り「白川真澄」格差があつてもわるくない」↓正しくは「白川真澄」格差があつてもわるくない?」

22 ページ上段 後ろから8行目 誤り「(にしだ・かずのり・・・)」↓正しくは「(たにぐち・かずのり・・・)」

26 ページ上段 後ろから2行目 誤り「千人中で1:6人という」↓正しくは「1万人中で1:6人という」

編集後記

◆反戦市民運動の中で「非戦」「不戦」は語られますが、「反軍」が語られなくなりました。「軍隊」が個人ひとりひとりの生き方を否定します。「反軍」はそれとの闘いでもあります。その思いを込めて巻頭の長谷川修児さんの詩を選ばせていただきました。

◆衆議院で教育基本法改悪案が自民党と公明党の暴挙で強行可決されました。教育基本法改悪と憲法改悪が表裏一体で私たち市民に向ってきています。